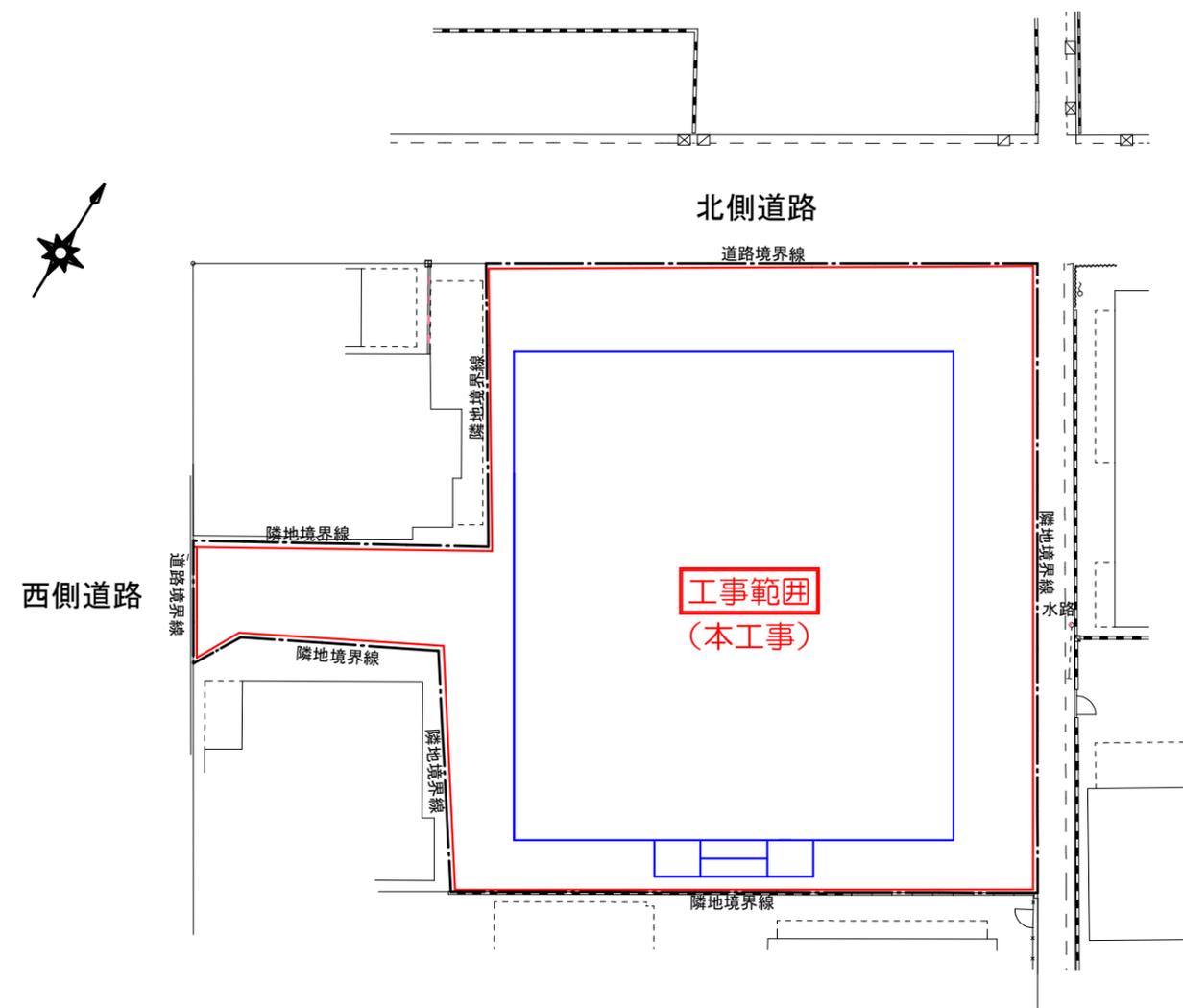
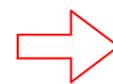


ステップ①：既存上屋解体工事



ステップ②：地上躯体工事～内外装施工時

【凡例】
 黄色：ピロティ、水色：1階建物、緑色：緑地帯
 黄色矢印：バス入園動線、青色矢印：バス退園動線

		A案【バス出入りを西側道路に限定】	B案【バスが敷地内を通り抜け】	C案【バス出入りを北側道路に限定】
計画面		<p>配置兼1階平面図</p> <p>A-A断面図</p>	<p>配置兼1階平面図</p> <p>A-A断面図</p>	<p>配置兼1階平面図</p> <p>A-A断面図</p>
	施設影響	<p>送迎時安全面</p> <p>△</p> <p>ピロティ下で乗降可能であり、敷地の内部で乗降りするので利用者の飛び出しを防ぐことが可能である。一方ピロティでの、バスの動線がB案より複雑なため乗降時に安全面に配慮が必要になる。</p>	<p>○</p> <p>ピロティ下で乗降可能であり、敷地の内部で乗降りするので利用者の飛び出しを防ぐことが可能である。</p>	<p>○</p> <p>ピロティ下と庇下で乗降を行う。歩道上空地付近で乗降を行うので、利用者も飛び出し防止など安全面の配慮が必要になる。</p>
近隣影響	ピロティ	<p>×</p> <p>1階床面積の1/3が車路スペースとなり、1階の居室面積が小さくなる。また、車いす駐車場が庇の下になる。</p>	<p>○</p> <p>1階の必要床面積を確保したうえで、ピロティ内でバスの乗降スペース2台と、車いす用駐車場が確保できる。</p>	<p>○</p> <p>ピロティは最小面積になるが、庇の下でのバス乗降が必要になる。</p>
	交通量送迎音	<p>△</p> <p>バスの出入口が、現状と同じのため周辺の交通量は変わらないが、西側に車両が集中する形になる。また、敷地内で切替しが多く発生すること、車いす利用者は北側道路近くでの乗降となることから、B案よりも送迎音が大きく聞こえる。バスの排気も北側に流れてしまう。</p>	<p>○</p> <p>バスの入口は、西側、出口は北側になるので、交通量は分散される。北側道路についても、東側にとおり抜けずに運行可能となる。敷地内での切替しも3案の中で最小となるので、送迎音も低減できる。</p>	<p>○</p> <p>バスの出入口が、北側に集中するため、北側道路の出入りが多くなる。また、切替しについても北側歩道上空地部分を一部使用するため交通量不可も大きくなる。また、車いす利用者の乗降の際には、歩道上空地にバスの頭が出るため、通行者に影響が出る。</p>
総合評価	建物の大きさ	<p>×</p> <p>4階の建物ボリュームが3案で最大になる。</p>	<p>△</p> <p>4階の建物ボリュームが3案で中間になる。</p>	<p>○</p> <p>4階の建物ボリュームが3案で最小になる。</p>
	総合評価	<p>×</p> <p>バス出入口は、現状と同じになるため周辺の交通量はそれほど変わらないが、ピロティ面積が大きく必要になるため、その分4階のボリュームは大きくなってしまう。</p>	<p>○</p> <p>バスの出入口を2か所に分けることで、交通量が分散される。また、ピロティ面積もコンパクトにまとめることができ、4階面積もA案ほど大きくしない計画となる。</p>	<p>△</p> <p>ピロティが小さくなるため、4階のボリュームを小さくできるが、北側道路に交通量が集中し、歩道上空地をバスの切替しで使用するので安全面上で、他案より劣る。</p>